

(2) 市民文化施設

1) コミュニティセンター

① 概要

本市には、コミュニティセンターが18か所あります。

コミュニティセンターは、ふれあいのある豊かな地域社会をつくり上げるため、市民が日ごろ行う様々なコミュニティ活動の「場」を提供するものです。

本市では、長らく社会教育法に基づく公民館を市直営で運営してきましたが、平成に入り、より柔軟に地域活動に対応できるコミュニティセンターへの移行を進めてきました。

全ての施設で指定管理者制度を導入しているほか、穂積コミュニティセンターは民間事業者所有の建物内に設置しています。

比較的新しい施設が多いものの、もともと公民館として整備され、コミュニティセンターに移行された三島コミュニティセンター、大池コミュニティセンター、春日コミュニティセンター、玉櫛コミュニティセンターでは、令和7年(2025年)末現在、築40年を経過しています。

表 3-2-2 コミュニティセンターの概要

No.	施設名	所在地	複合区分	運営形態	延床面積(m ²)	主要な建物の情報 (R7年末現在)			
						主な建築年	経過年数	構造・階数	耐震性
コミュニティセンター									
1	葦原コミュニティセンター	新和町21番27号	複合	指定管理	703	H6	31	RC・2	○
2	中津コミュニティセンター	桑田町13番29号	単独	指定管理	750	H7	30	RC・2	○
3	庄栄コミュニティセンター	庄二丁目26番12号	複合	指定管理	749	H10	27	RC・3	○
4	水尾コミュニティセンター	水尾二丁目9番15号	単独	指定管理	832	H11	26	RC・2	○
5	郡コミュニティセンター	郡五丁目12番11号	単独	指定管理	772	H12	25	RC・2	○
6	西河原コミュニティセンター	西河原北町7番21号	単独	指定管理	820	H12	25	RC・2	○
7	穂積コミュニティセンター	下穂積一丁目7番5号	※	指定管理	594	H13	24	—	○
8	畑田コミュニティセンター	畑田町3番6号	単独	指定管理	814	H14	23	RC・2	○
9	東コミュニティセンター	学園町4番18号	複合	指定管理	840	H14	23	RC・5	○
10	豊川コミュニティセンター	藤の里二丁目16番8号	複合	指定管理	1,111	H18	19	RC・2	○
11	彩都西コミュニティセンター	彩都あさぎ一丁目3番4号	複合	指定管理	926	H24	13	RC・2	○
12	三島コミュニティセンター	西河原二丁目7番12号	単独	指定管理	1,051	S54	46	RC・3	○
13	大池コミュニティセンター	舟木町11番35号	複合	指定管理	1,624	S51	49	RC・2	○
14	春日コミュニティセンター	上穂積二丁目13番30号	単独	指定管理	1,109	S56	44	RC・2	○
15	東奈良コミュニティセンター	東奈良三丁目8番5号	単独	指定管理	505	H5	32	RC・2	○
16	沢池コミュニティセンター	南春日丘五丁目1番21号	単独	指定管理	375	S62	38	RC・2	○
17	山手台コミュニティセンター	山手台三丁目32番2号	複合	指定管理	526	S62	38	RC・2	○
18	玉櫛コミュニティセンター	沢良宜東町5番39号	単独	指定管理	1,329	S58	42	RC・2	○

※穂積コミュニティセンターは民間施設内に設置

表 3-2-3 公民館から移行したコミュニティセンター

名称	移行前名称	移行年月
三島コミュニティセンター	三島公民館	平成24年4月
大池コミュニティセンター	大池公民館	平成25年4月
春日コミュニティセンター	春日公民館	平成27年4月
東奈良コミュニティセンター	東奈良公民館	平成27年4月
沢池コミュニティセンター	沢池公民館	平成29年4月
山手台コミュニティセンター	山手台公民館	平成30年4月
玉櫛コミュニティセンター	玉櫛公民館	令和2年4月

② 施設位置図

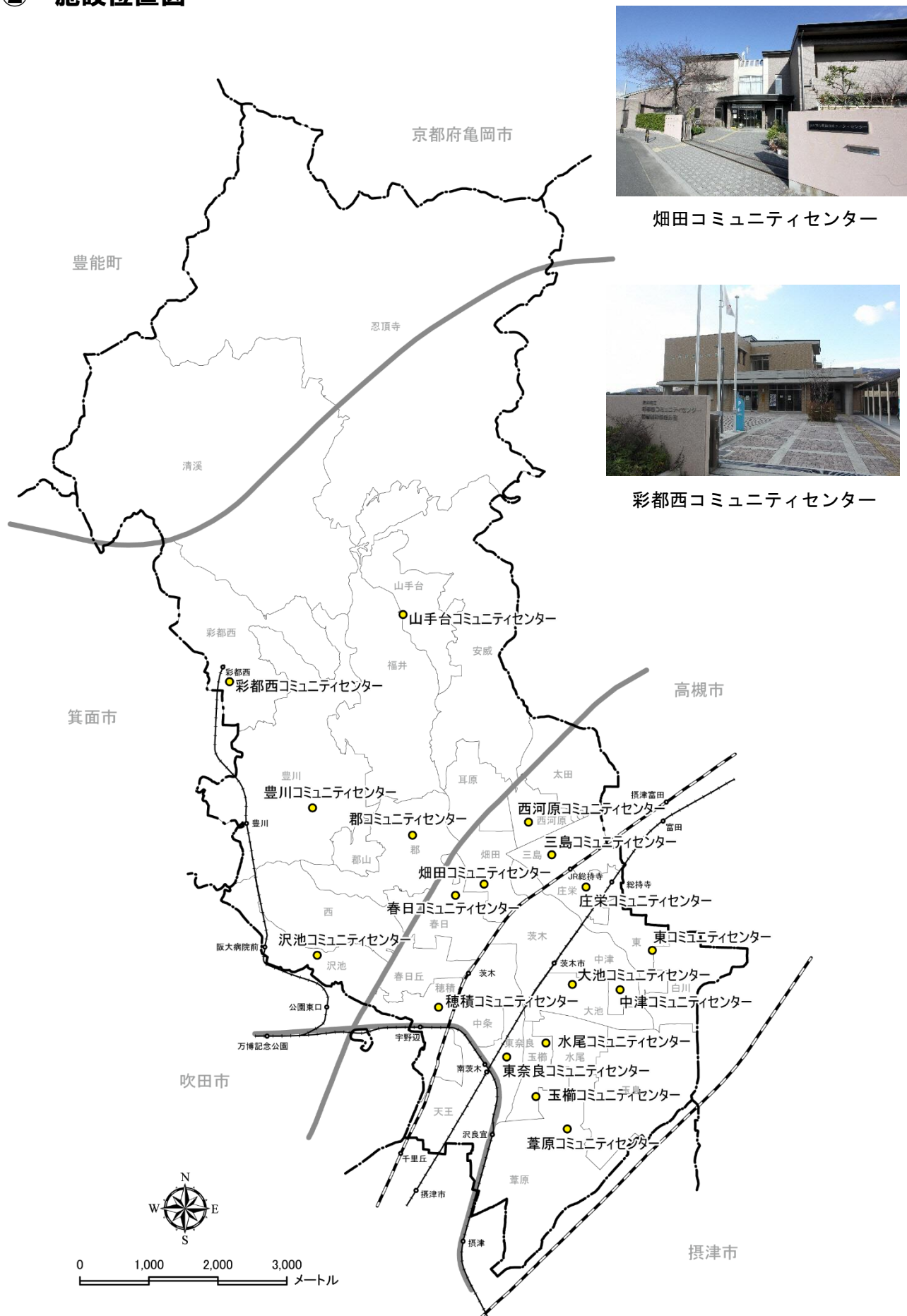


図 3-2-7 対象施設位置図 (コミュニティセンター)

③ 利用の状況

令和6年度（2024年度）の利用者数をみると、大池コミュニティセンターが約7万1千人、次いで穂積コミュニティセンターの約5万5千人となっています。

コミュニティセンターには大小さまざまな貸室があり、それらの稼働率（総利用可能コマ数に対する総利用コマ数の割合）をみると、穂積コミュニティセンターで71.2%、大池コミュニティセンターで63.3%と高くなっていますが、3割に満たない施設も見られます（貸室・時間帯別の稼働率の詳細については、3-3で整理しています）。

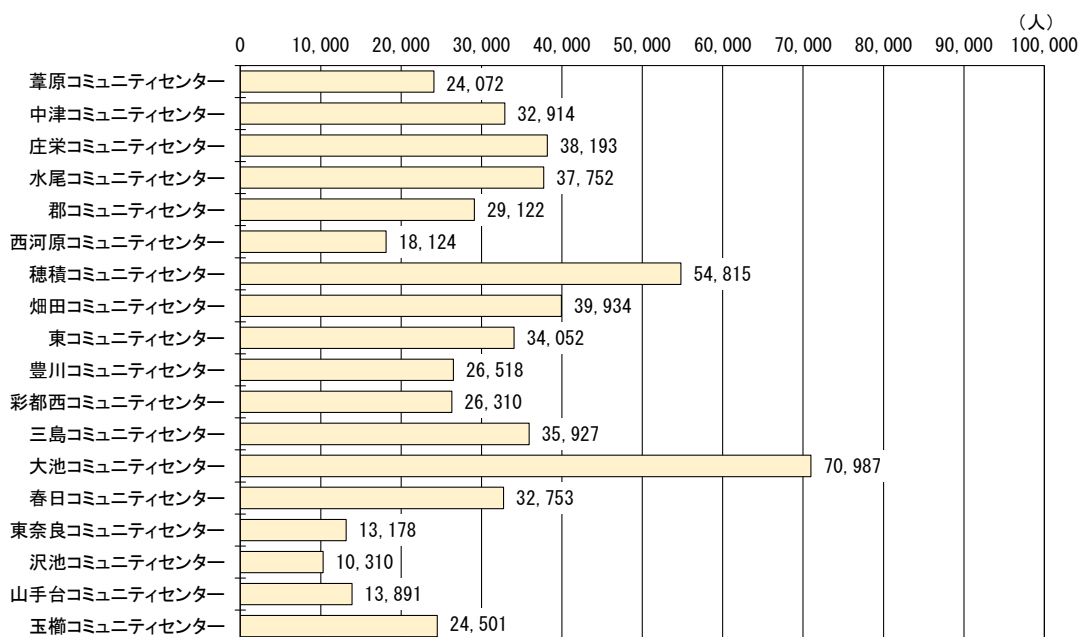


図 3-2-8 施設の利用者数（令和6年度（2024年度））

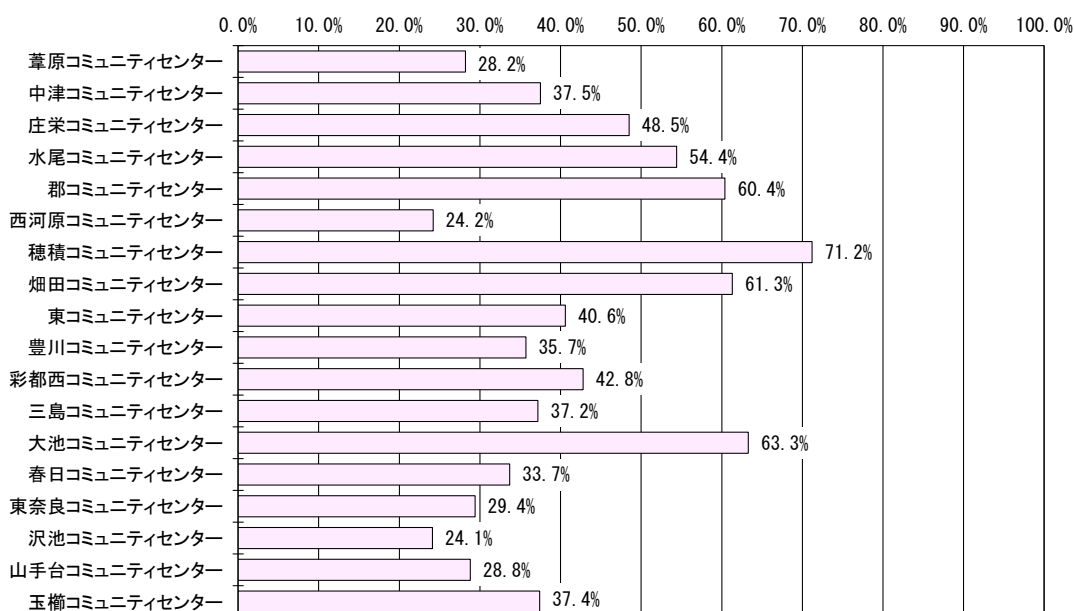


図 3-2-9 施設の利用状況（貸室の稼働率）（令和6年度（2024年度））

④ 施設に関する総コストの状況

令和6年度（2024年度）の施設に関する総コストをみると、最も施設規模が大きく、外壁改修工事や防水改修工事等を実施した大池コミュニティセンターで約6千万円と高くなっています。

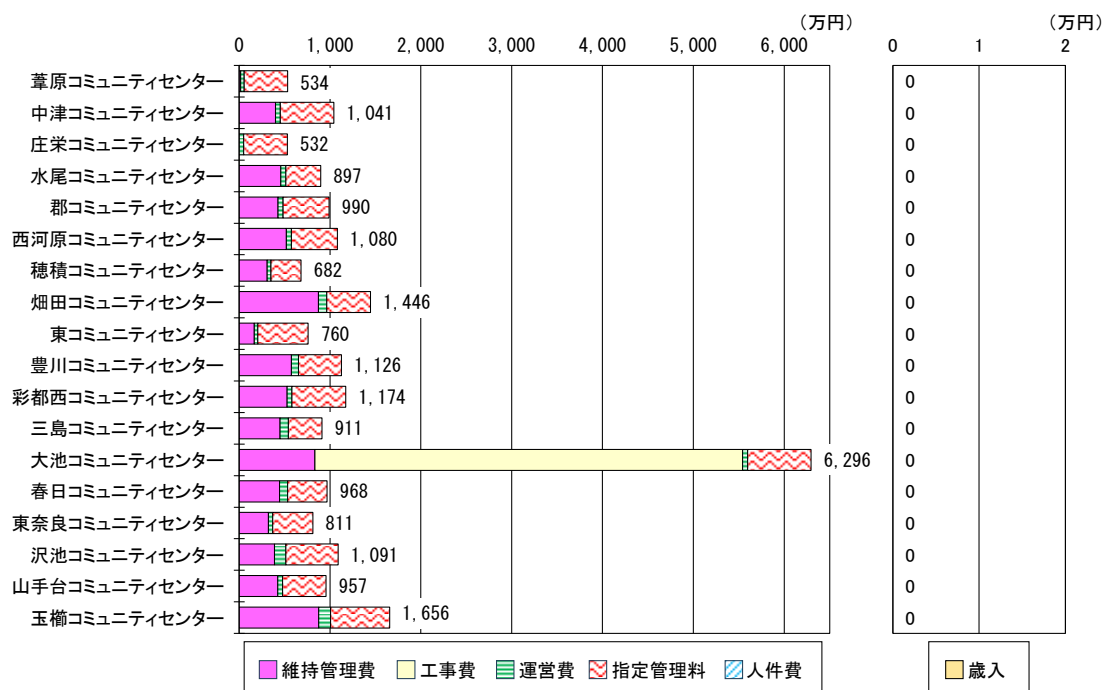


図 3-2-10 施設に関する費用と内訳（令和6年度（2024年度））

⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、延床面積1㎡あたりで比較すると、沢池コミュニティセンターで約2万9千円と最も高く、次いで山手台コミュニティセンターで約1万8千円、畑田コミュニティセンターで約1万7千円となっています。一方で、葦原コミュニティセンター及び庄栄コミュニティセンターで約7千円と低く、施設間で差が大きくなっています。

また、利用者1人あたりで比較すると、沢池コミュニティセンターが1,058円で最も高くなっています。

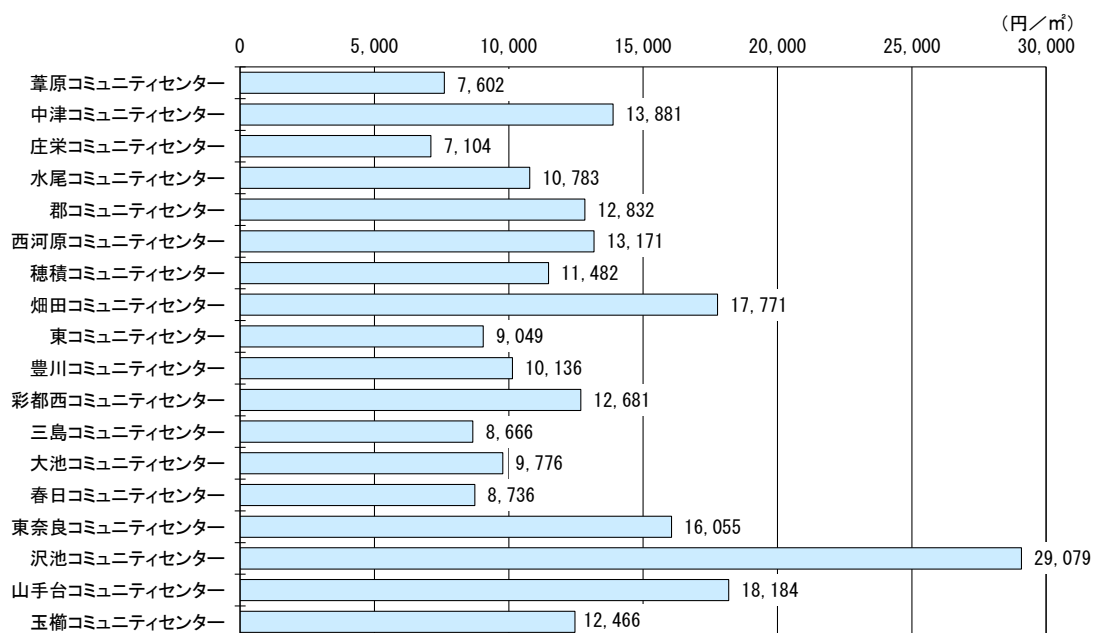


図 3-2-11 延床面積1㎡あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

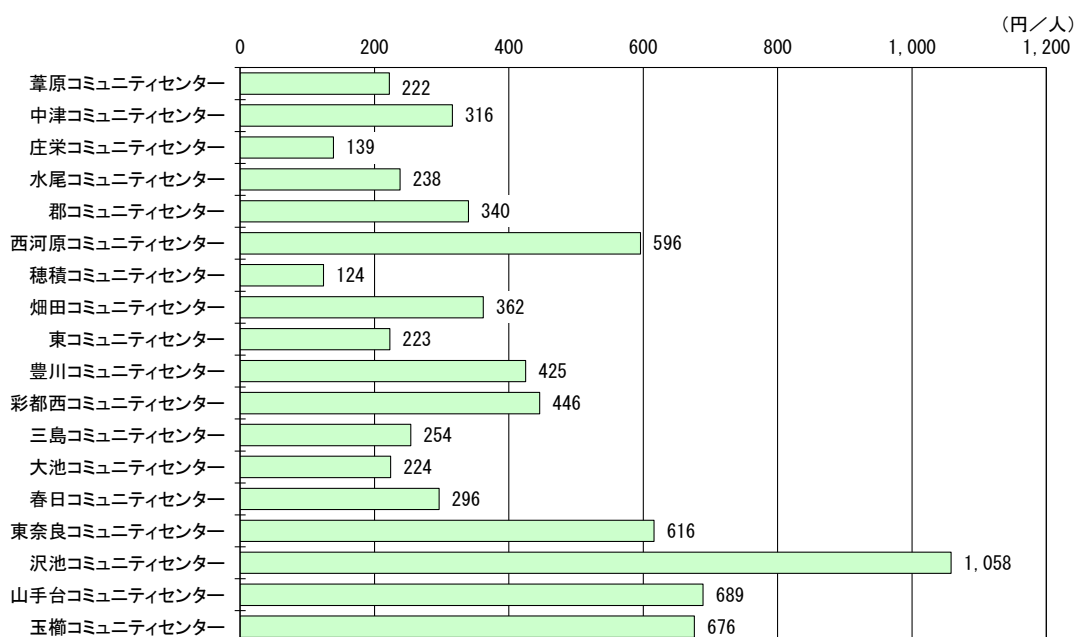


図 3-2-12 利用者1人あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

⑥ 単位あたりの利用状況

延床面積 1 m²あたりの利用者数をみると、穂積コミュニティセンターで約 92 人と突出しています。全てのコミュニティセンター延床面積 1 m²あたりの利用者の平均は約 36.5 人/m²となります。

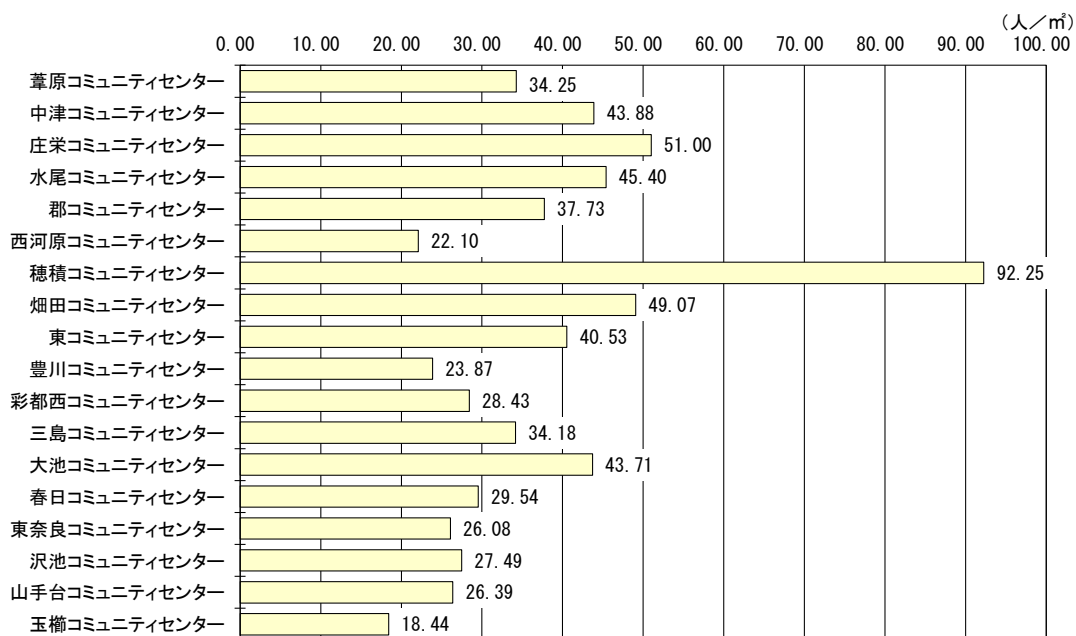


図 3-2-13 延床面積 1 m²あたりの利用者数（令和 6 年度（2024 年度））

2) 人権施設

① 概要

本市には、人権施設としてのいのち・愛・ゆめセンターが分館・別館を含めて6か所、男女共生センターが1か所あります。

いのち・愛・ゆめセンターは、地域住民の福祉の向上をめざし、市民に対する人権啓発を推進し、すべての人権問題の解決を図り、人権が尊重される社会の実現に資することを目的として、相談、地域交流、啓発及び生涯学習推進の各事業を実施し、要支援者の自立支援や地域活動支援、人権尊重のまちづくりの発信に取り組んでいます。

男女共生センターローズWAMは、男女共同参画社会実現のための拠点施設として、学習や交流、相談、情報の収集・発信、研修の場の提供など、多様化するライフスタイルやニーズにそった事業の展開と自立支援を行うとともに、自主活動やネットワークづくりのためのフリースペースを設けています。

いずれも直営の施設であり、指定管理者制度等は導入していません。

旧耐震基準で建設されたいのち・愛・ゆめセンターは、全ての施設において耐震改修が完了しています。

表 3-2-4 人権施設の概要

No.	施設名	所在地	複合区分	運営形態	延床面積(m ²)	主要な建物の情報 (R7年末現在)			
						主な建築年	経過年数	構造・階数	耐震性
いのち・愛・ゆめセンター									
1	豊川いのち・愛・ゆめセンター	豊川四丁目4番28号	単独	直営	1,817	S47	53	RC・4	○
2	豊川いのち・愛・ゆめセンター分館	豊川五丁目10番28号	単独	直営	1,616	S54	46	RC・2	○
3	沢良宜いのち・愛・ゆめセンター	沢良宜浜三丁目12番19号	単独	直営	1,776	S48	52	RC・4	○
4	沢良宜いのち・愛・ゆめセンター分館	沢良宜浜三丁目11番13号	単独	直営	910	S39	61	RC・2	○
5	総持寺いのち・愛・ゆめセンター	総持寺二丁目5番36号	単独	直営	1,329	S49	51	RC・4	○
6	総持寺いのち・愛・ゆめセンター別館	総持寺二丁目5番28号	単独	直営	625	S57	43	RC・2	○
男女共生センター									
1	男女共生センターローズWAM	元町4番7号	単独	直営	3,619	H12	25	SRC・5	○



総持寺いのち・愛・ゆめセンター



男女共生センターローズWAM

② 施設位置図

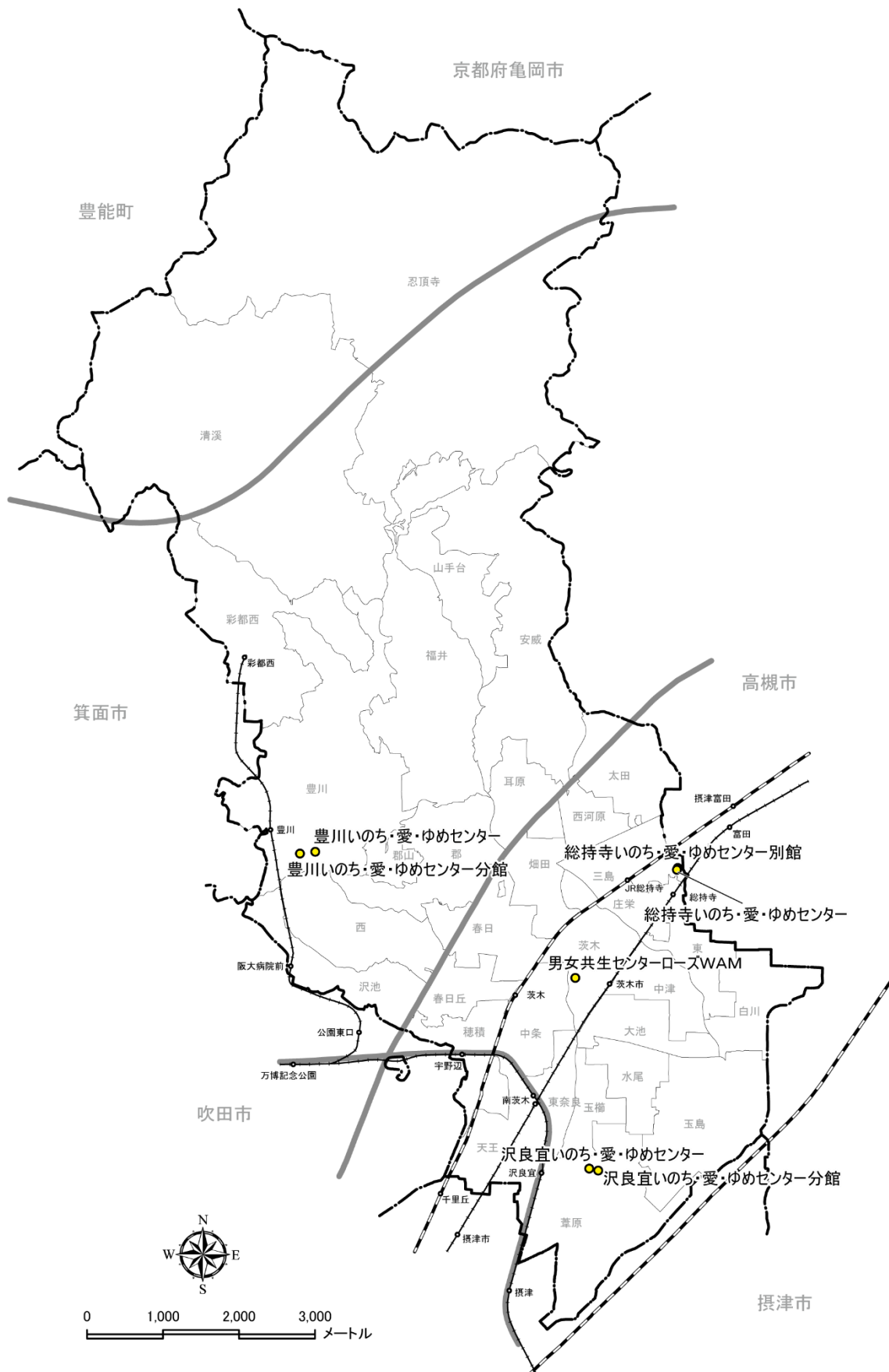


図 3-2-14 対象施設位置図（人権施設）

③ 利用の状況

令和6年度（2024年度）の利用者数をみると、男女共生センターローズWAMで約7万6千人となっています。いのち・愛・ゆめセンターの中では、総持寺いのち・愛・ゆめセンターが約2万2千人で最も多くなっています。

男女共生センターローズWAMのホール（ワムホール、ローズホール）の稼働率（総利用可能コマ数に対する総利用コマ数の割合）をみると58.0%となっています。また、ホールを除く貸室の稼働率を比較すると、総持寺いのち・愛・ゆめセンター別館で65.8%、豊川いのち・愛・ゆめセンター分館で42.6%となっています（貸室・時間帯別の稼働率の詳細については、3-3で整理しています）。

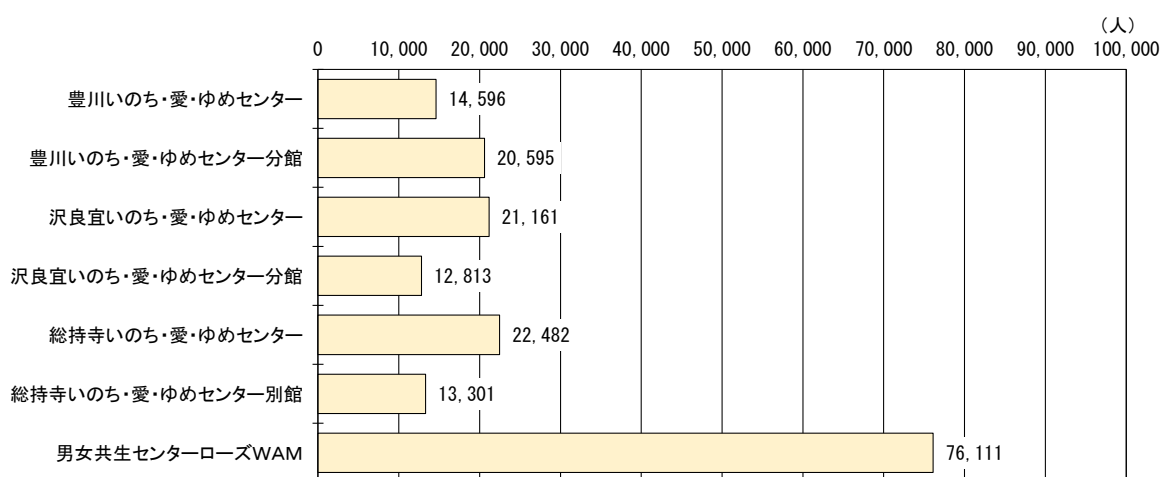


図 3-2-15 施設の利用者数（令和6年度（2024年度））

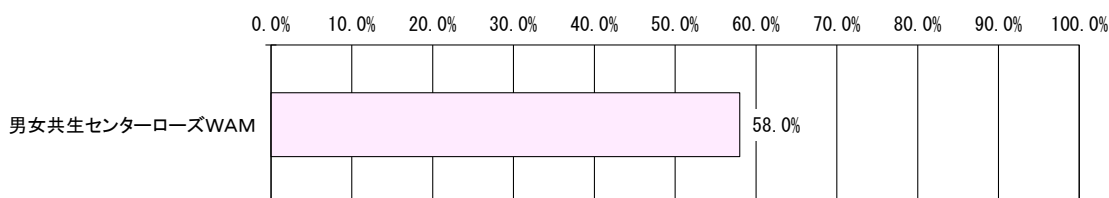


図 3-2-16 ホールの稼働率（令和6年度（2024年度））

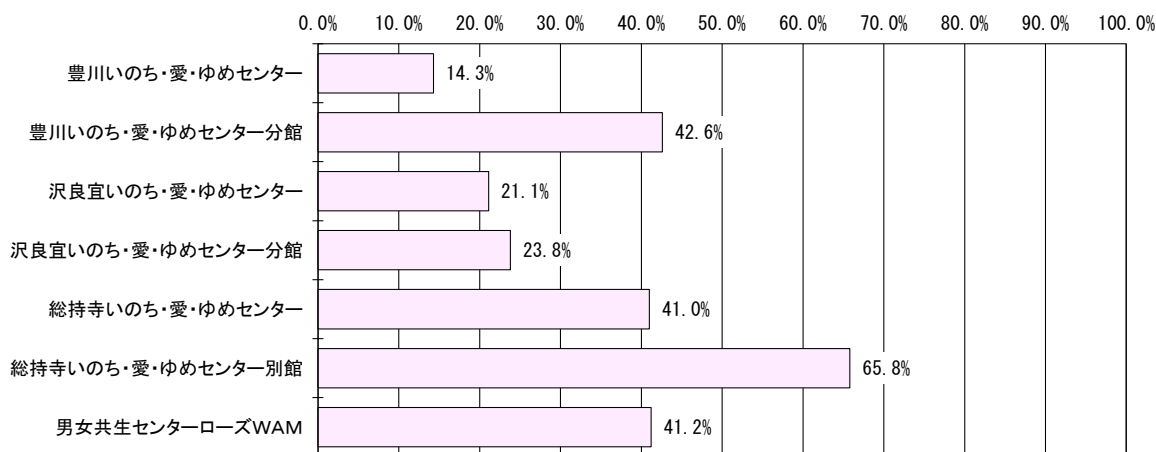


図 3-2-17 貸室（ホールを除く）の稼働率（令和6年度（2024年度））

④ 施設に関する総コストの状況

令和6年度（2024年度）の施設に関する総コストをみると、男女共生センターローズWAMで約1億7千万円となっています。

いのち・愛・ゆめセンターでは、おおむね本館が約3千万円～4千万円、分館・別館が約1千万円～2千万円となっています。

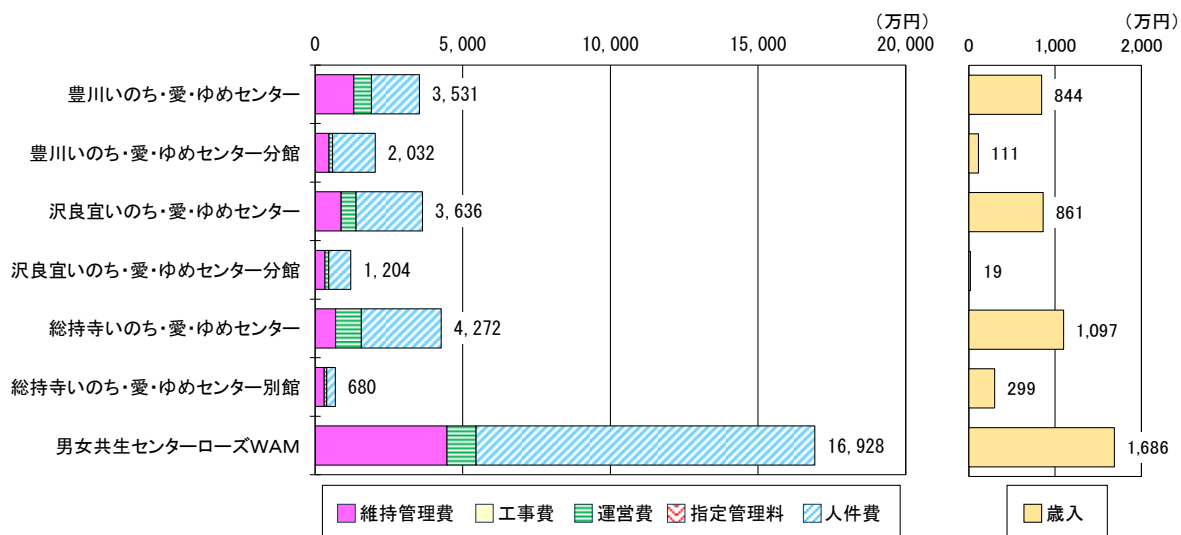


図 3-2-18 施設に関する費用と内訳（令和6年度（2024年度））

⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、延床面積1㎡あたりで比較すると、男女共生センターローズWAMで約4万2千円、総持寺いのち・愛・ゆめセンターで約2万4千円となっています。

また、利用者1人あたりで比較すると、豊川いのち・愛・ゆめセンター及び男女共生センターローズWAMで約2千円となっています。

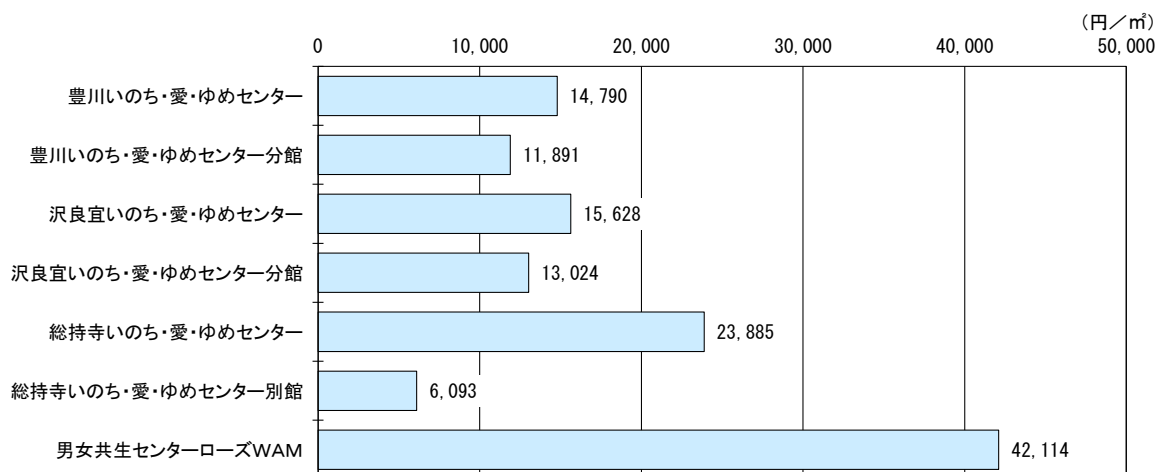


図 3-2-19 延床面積1㎡あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

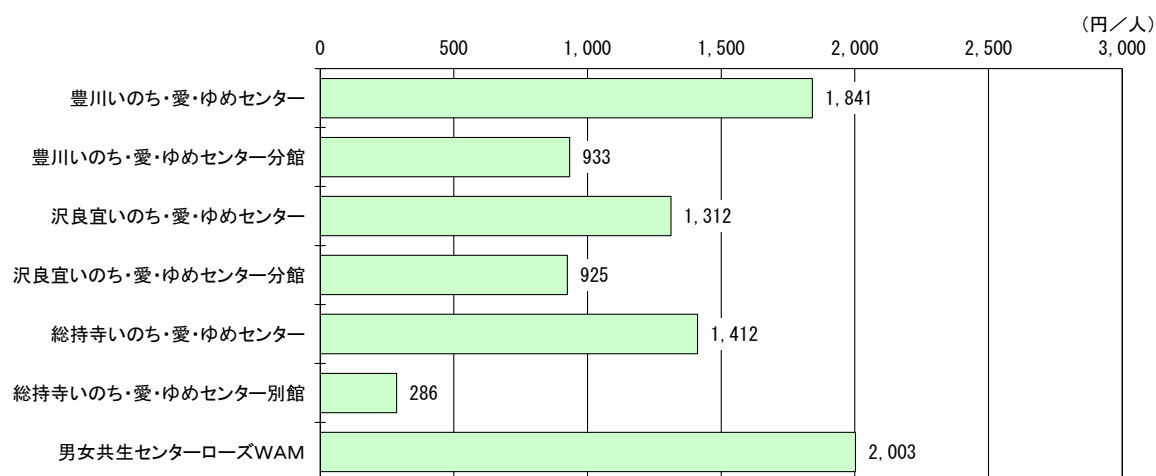


図 3-2-20 利用者1人あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

⑥ 単位あたりの利用状況

延床面積 1 m²あたりの利用者数をみると、総持寺いのち・愛・ゆめセンター別館及び男女共生センターローズWAMで約 21 人と最も多くなっています。

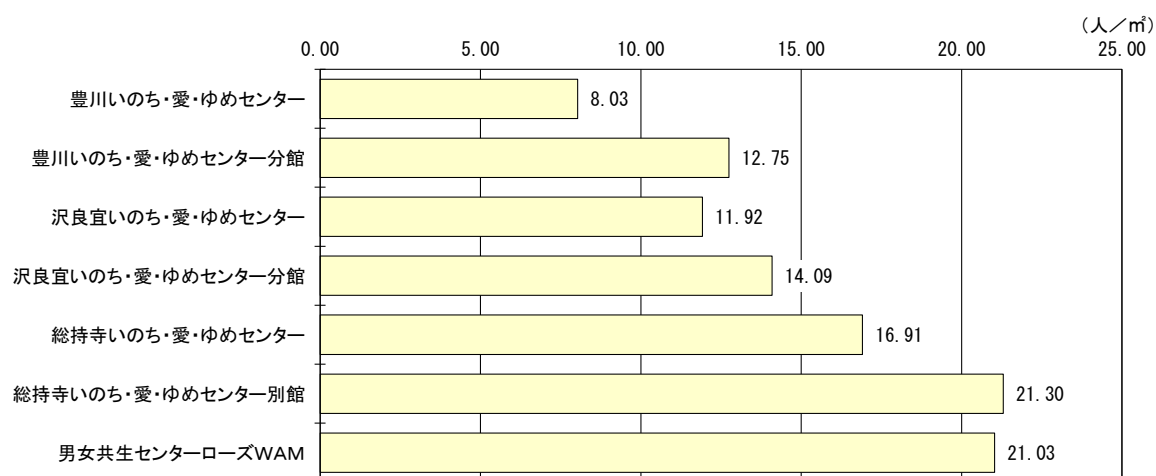


図 3-2-21 延床面積 1 m²あたりの利用者数 (令和 6 年度 (2024 年度))

3) その他市民文化施設

① 概要

本市には、その他市民文化施設が9か所あります。

文化・子育て複合施設おにクルは、ホールや図書館、子育て支援、市民活動センター、プラネタリウムなど、多くの機能が入る複合施設です。施設名称の「おにクル」は、令和3年（2021年）に一般公募で応募のあった約2,700件の案の中から、市民投票を経て決定しました。

市民活動センター（きゃばす）は、文化・子育て複合施設おにクルの7階にあり、市民活動を支援するために活動場所や設備、情報などを提供しています。市民活動センターでは、指定管理者制度を導入しています。

プラネタリウム（天文観覧室）は文化・子育て複合施設おにクル内にあり、当日夜に観察可能な星空の解説など、様々なテーマで星空を紹介しています。また、投影がない時間帯にドームが貸室として利用できます。

消費生活センターは、市役所南館1階にあり、商品の購入やサービスを利用したときの契約内容、品質についてのトラブル等、消費生活に関する相談を受け付けているほか、生活に役立つ情報の提供など啓発事業も実施しています。

市民総合センターは、市民文化の向上に資するため、センターホール（429席）のほか、多目的ホール、会議室等があり、指定管理者制度を導入しています。

生涯学習センターきらめきは、会議室、研修室をはじめ、和室、陶芸室やアトリエ、食工房、多目的・音楽・録音スタジオ、きらめきホールなどを備えた市民の生涯学習の拠点施設です。

市立ギャラリーは、美術に関する創作及び鑑賞活動を促進し、美術を通じて市民文化の振興を図るための施設であり、阪急茨木市駅ロサヴィア2階にあります。

川端康成文学館では、本市ゆかりの川端康成の業績を讃え、多くの市民に川端文学に親しんでもらう拠点として、氏の著書、遺品、書簡、原稿や墨書のほか、模型・写真・ビデオなどゆかりの品約400点を展示しています。

中央図書館内にある富士正晴記念館では、本市ゆかりの詩人・小説家の富士正晴の功績を讃え、生前に収集されていた文学資料や自作の絵画など約8万3千点を収蔵、展示しています。

表 3-2-5 その他市民文化施設の概要

No.	施設名	所在地	複合区分	運営形態	延床面積(m ²)	主要な建物の情報 (R7年末現在)			
						主な建築年	経過年数	構造・階数	耐震性
その他市民文化施設									
1	文化・子育て複合施設 おにクル	駅前三丁目9番45号	複合	指定管理	14,528	R5	2	RC・9	○
2	市民活動センター（きゃばす）	駅前三丁目9番45号	複合	指定管理	277	R5	2	RC・9	○
3	消費生活センター	駅前三丁目8番13号	複合	直営	102	H9	28	SRC・10	○
4	市民総合センター	駅前四丁目6番16号	複合	指定管理	9,293	H1	36	SRC・5	○
5	プラネタリウム	駅前三丁目9番45号	複合	指定管理	166	R5	2	RC・9	○
6	生涯学習センターきらめき	畑田町1番43号	単独	直営	11,197	H16	21	SRC・4	○
7	市立ギャラリー	永代町1番5号	※	直営	145	H3	34	—	○
8	川端康成文学館	上中条二丁目11番25号	複合	直営	409	S60	40	RC・4	○
9	富士正晴記念館	畑田町1番51号	複合	直営	220	H3	34	SRC・2	○

※市立ギャラリーは民間施設内に設置

② 施設位置図



文化・子育て複合施設 おにくる



プラネタリウム

図 3-2-22 対象施設位置図（その他市民文化施設）

③ 利用の状況

川端康成文学館の利用者数の推移をみると、年度によりバラつきがみられるものの、減少傾向にあり、令和6年度（2024年度）では、5,950人となっています。

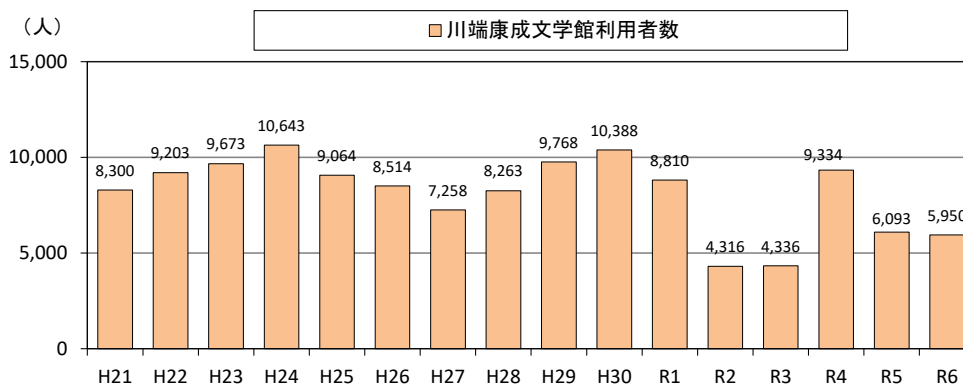


図 3-2-23 川端康成文学館の利用者数の推移（令和6年度（2024年度））

令和6年度（2024年度）の利用者数をみると、文化・子育て複合施設おにクルが約195万人と突出しています。

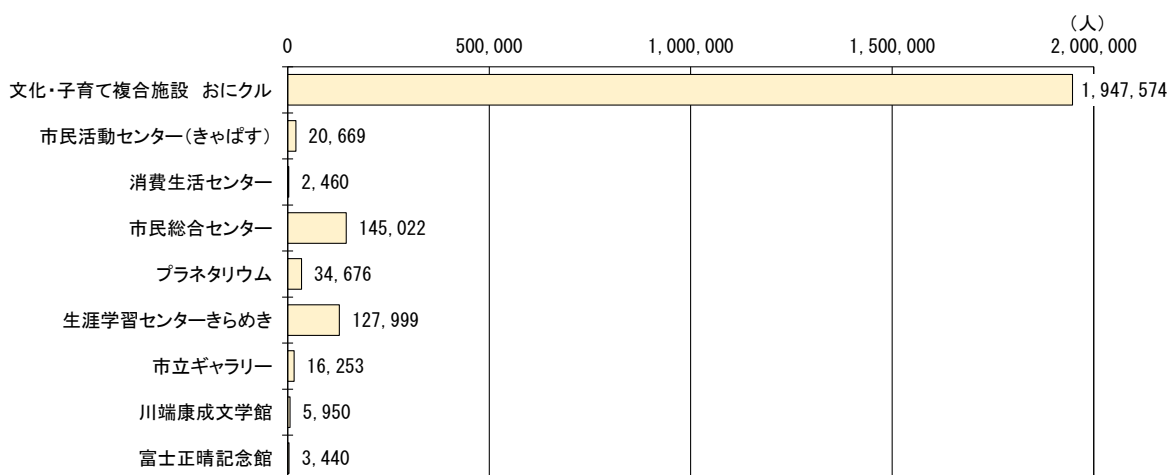


図 3-2-24 施設の利用者数（令和6年度（2024年度））

ホールの稼働率（総利用可能コマ数に対する総利用コマ数の割合）は、文化・子育て複合施設おにクルは 63.8%、生涯学習センターきらめきは 48.0%、市民総合センターは 47.2%となっています。また、ホール以外の貸室の稼働率をみると、文化・子育て複合施設おにクルは 66.3%、市民活動センター（きゃばす）は 57.3%、市民総合センターは 37.5%、生涯学習センターきらめきは 34.7%、プラネタリウムは 11.0%となります（貸室・時間帯別の稼働率の詳細については、3-3 で整理しています）。市立ギャラリーの稼働率は 64.0%となっています。

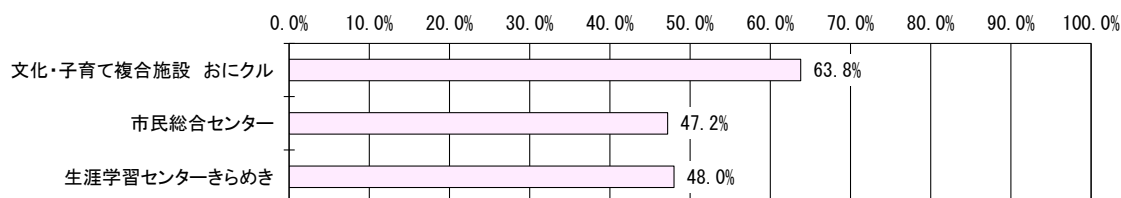


図 3-2-25 ホールの稼働率（令和 6 年度（2024 年度））

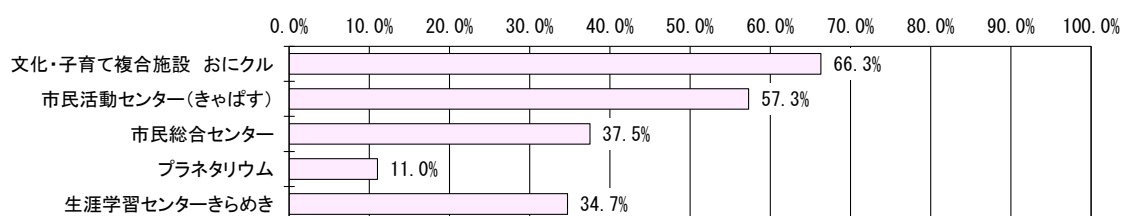


図 3-2-26 貸室（ホール以外）の稼働率（令和 6 年度（2024 年度））

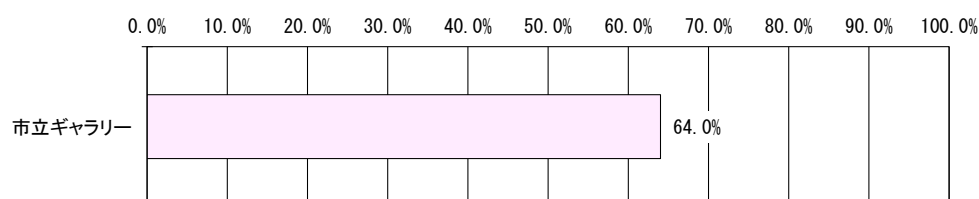


図 3-2-27 市立ギャラリーの稼働率（令和 6 年度（2024 年度））

④ 施設に関する総コストの状況

令和6年度（2024年度）の施設に関する総コストをみると、文化・子育て複合施設おにクルで約5億5千万円、市民総合センターで約3億4千万円、生涯学習センターきらめきで約2億1千万円となっています。

また、歳入をみると、生涯学習センターきらめきで約5千万円となっています。

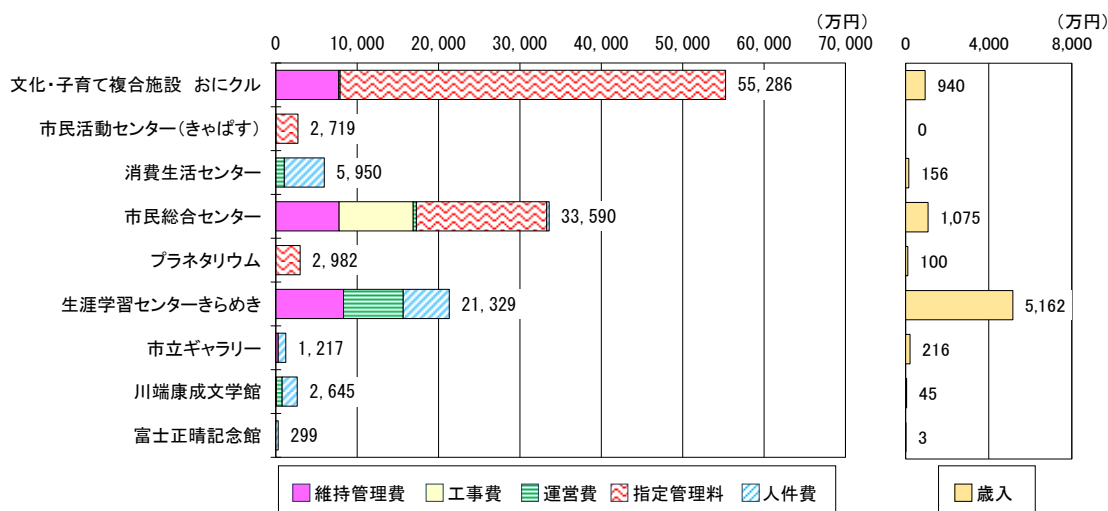


図 3-2-28 施設に関する費用と内訳（令和6年度（2024年度））

⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、延床面積1㎡あたりで比較すると、消費生活センターで約56万8千円、プラネタリウムで約17万4千円となっています。

また、利用者1人あたりで比較すると、消費生活センターで約2万4千円、川端康成文学館で約4千円となっています。

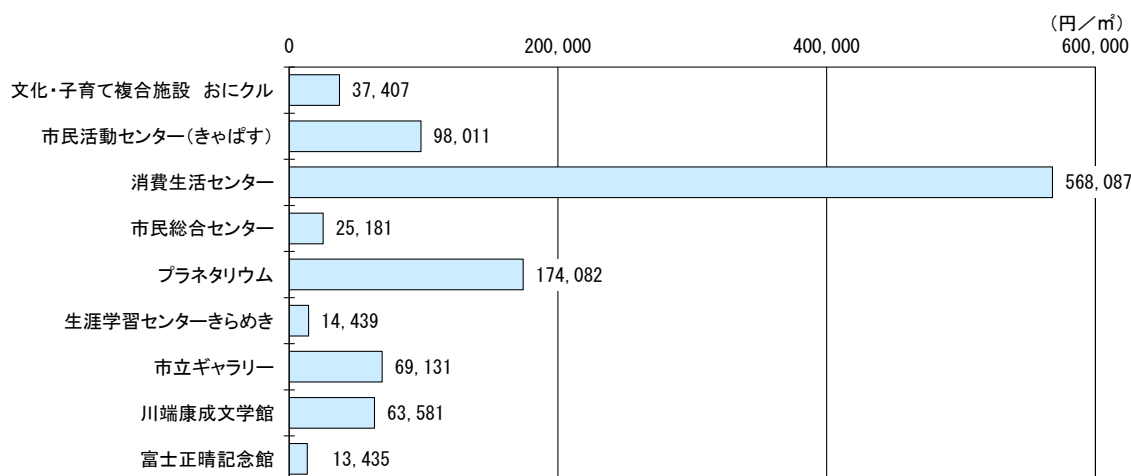


図 3-2-29 延床面積1㎡あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

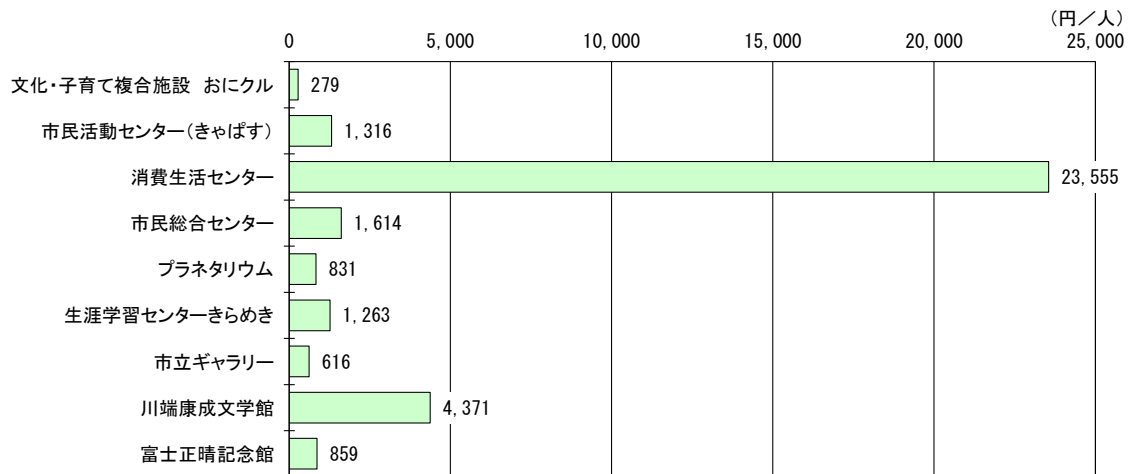


図 3-2-30 利用者1人あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

⑥ 単位あたりの利用状況

延床面積1㎡あたりの利用者数をみると、プラネタリウムで約209人、文化・子育て複合施設おにクルで約134人、市立ギャラリーで約112人となっています。

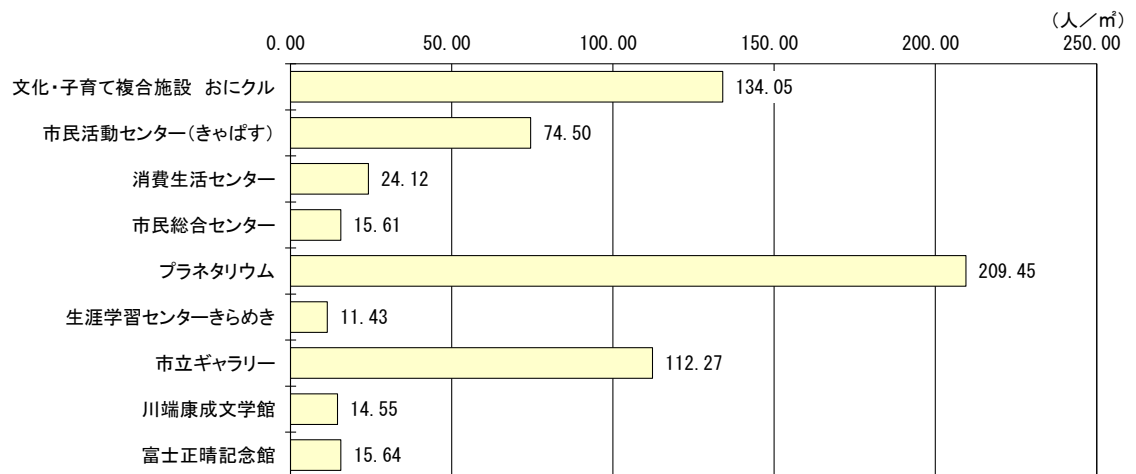


図 3-2-31 延床面積1㎡あたりの利用者数（令和6年度（2024年度））